

取付設置説明書

ガスビルトインコンロ

型 式 名

C3WS9KJT・DW30S9JT

誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。



禁止



必ず守る



分解禁止

設置される方へ (この「取付設置説明書」を設置前に必ずお読みください。)



設置するときは、可燃物との距離を確実に離す
火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。
距離が近いと、火災の原因になります。

周囲の壁が不燃材料以外(タイルやステンレスなどを貼り付けた可燃性の壁も含む)で、トッププレートに貼り付けの防火性能評定品ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。可燃性の壁に直接タイルやステンレスを貼り付けた場合でも、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し、火災のおそれがあります。

どうしても設置しなければならない場合は、必ず弊社指定の防熱板(別売部品)を取り付けてください。弊社指定の防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。

※壁の構造が確認できなかった場合は、必ず弊社指定の防熱板を取り付けてください。→4~5ページ

・下記に応じて設置を行ってください。

(1) ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 → 1~12ページ、18~19ページ

(2) ビルトインタイプガスオーブンとセットで設置する場合 → 1~5ページ、13~19ページ



機器を安全にご使用いただくため、この取付設置説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う



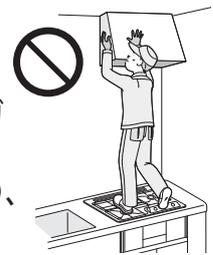
建築基準法、当該地区の市、町、村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(一般財団法人日本ガス機器検査協会刊)に従う



機器の上には絶対にのらない。また、トッププレートに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけない



ごとくやトッププレートが変形し、異常過熱や火災の原因になります。



設置するときは、手袋をはめて行う
機器の突起物などでけがをする原因になります。



設置で必要なところ以外は絶対に改造、分解は行わない
一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。



・乾電池を抜かずに器具栓つまみを「点火の状態」で放置しないでください。乾電池の消耗が早くなります。
・乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

- ・この取付設置説明書に基づいて、設置されていることを確認してください。
- ・設置が終了したら、19ページの「**チェックリスト**」に基づいて、必ず再確認してください。
- ・この取付設置説明書の記載内容から外れた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
- ・設置終了後、保証書(取扱説明書に記載)に必要な事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。
- ・取扱説明書に従って、お客さまに機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。
- ・この機器は国内専用です。海外では設置できません。



59273300

ケK33

○もくじ

同こん部品 2
 各部のなまえ 3
 設置前の注意 4
 設置場所の確認 4~5

機器の設置 6~16
 ビルトインコンロ単体で設置する場合 6~12
 ビルトインコンロとビルトインタイプ
 ガスオープンセットで設置する場合 13~16
 ガス接続、ガス配管工事 17~18
 設置後の点検確認 19
 試運転 19

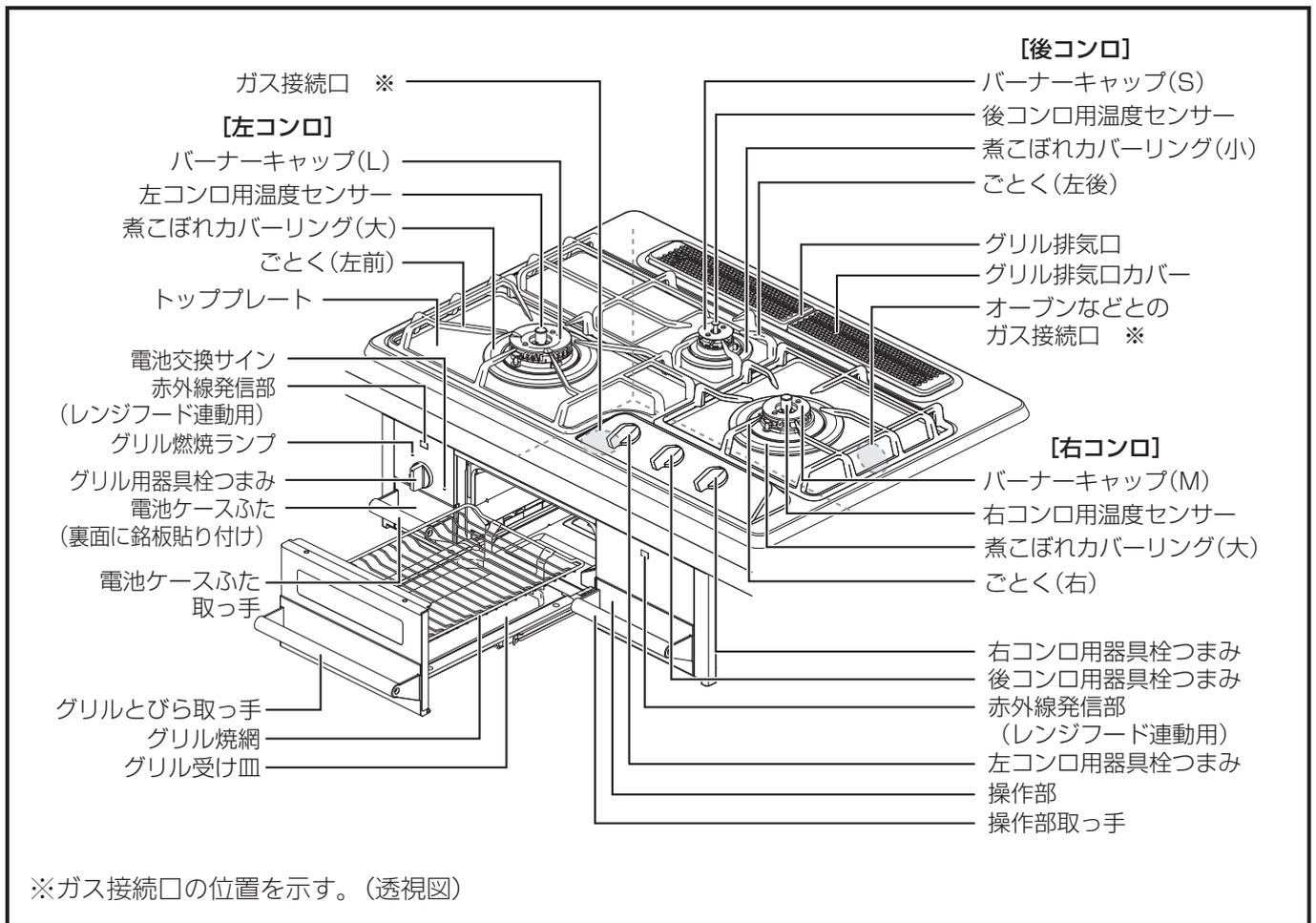
同こん部品

◎同こん部品、付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部 品 名	形 状	個 数	部 品 名	形 状	個 数
バーナーキャップ(L) <左コンロ用>		1	機器固定用ボルト (予備用2本)		4
バーナーキャップ(M) <右コンロ用>		1	検圧口ネジ用 アルミパッキン	 <small>(ビルトインコンロで検圧した場合の 取り替え用です。 機器取付パッキンとは形状が異なり ますので注意してください。)</small>	1
バーナーキャップ(S) <後コンロ用>		1	グリル焼網		1
ごとく(左前) <左コンロ用>		1	グリル排気口カバー		2
ごとく(右) <右コンロ用>		1	電池ケース (乾電池単1形2個付)		1
ごとく(左後) <後コンロ用>		1	ダッチオープンふた ダッチオープン網 ダッチオープン本体 ダッチオープン支持網		各1
煮こぼれカバーリング(大) <左右コンロ用>		2			
煮こぼれカバーリング(小) <後コンロ用>		1			
コンロ用器具栓つまみ		3	取扱説明書(保証書付) 取付設置説明書 レシピカード かんたん使いこなしブック クッキングブック		各1
サイドモール(左) サイドモール(右)		各1			

各部のなまえ



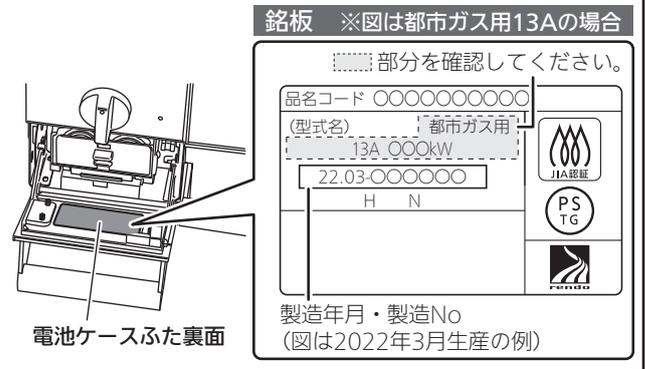
設置前の注意

◎設置する機器の確認

- ・設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

⚠注意

- !** 銘板(電池ケースふた裏面に貼付)に表示してあるガスに適合していることを確認する
必ず守る 火災、不完全燃焼、異常点火のおそれや、機器が故障する原因になります。
- !** ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する
必ず守る 爆発や不完全燃焼の原因になります。
- !** この機器は家庭用の調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する
必ず守る 火災、不完全燃焼、機器の故障の原因になります。



設置場所の確認

◎防火上の離隔距離

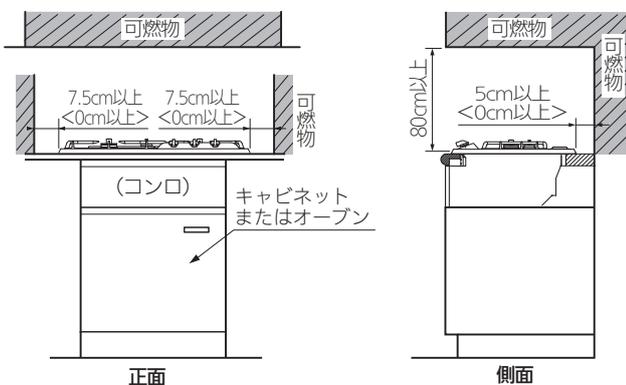
- ・機器を設置する周囲の壁などが防火上安全な場所か、または防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。
- ・この機器は防火性能評定品です。

⚠注意

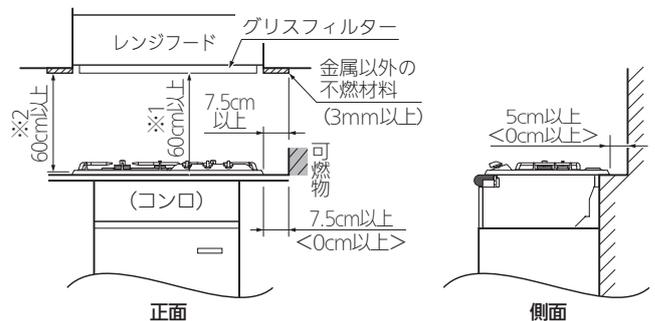
- !** 周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する
必ず守る 火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。
距離が近いと、火災の原因になります。

- ・周囲の壁が不燃材料以外(タイルやステンレスなどを貼り付けた可燃性の壁も含む)で、トッププレートに貼り付けの防火性能評定品ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
可燃性の壁に直接タイルやステンレスを貼り付けた場合でも、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し、火災のおそれがあります。

機器の周囲が可燃物の場合



レンジフードまたは不燃材の場合



※< >内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。

※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。

※2 不燃材料がない場合もしくは、金属以外の不燃材料の厚みが3mm未満の場合は、80cm以上。

◎どうしても設置しなければならない場合や、壁の構造がわからない場合は、必ず弊社指定の防熱板(別売部品)を取り付けてください。

弊社指定の防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。

注意



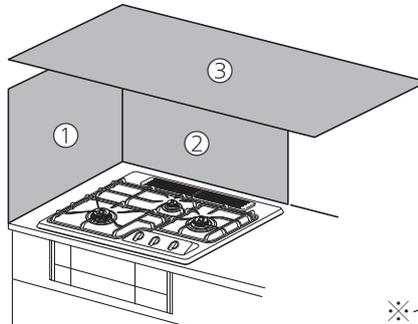
防熱板(別売部品)は、必ず指定のものを使用する

防熱板に同梱されている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
必ず守る 防熱板を取り付けないと、火災の原因になります。

- ・防熱板は4種類用意しています。
 - ・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
- ※取り付け方法は別売の防熱板に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

コード番号	高さ(mm)	奥行(mm)	幅(mm)
① 0706528(DP0128)	590	—	535
② 0706533(LP0131)	590	—	750
③ 0702056(LP0107)	—	550	900
④ 0705471(DP0104)	90	—	750

※④はワークトップ後部の立ち上がり用



※イラストはイメージ図です。

防熱板のお求めは販売店に、防熱板に関するご不明点は、弊社窓口(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

- ・設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

注意



設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する

必ず守る 他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物、可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する



水平で丈夫な場所に設置し、ガタツキがないことを確認する



保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する



設置後、トラブルの原因になったり、点検、修理に支障をきたします。



引火性の危険物(ガソリン、灯油、ベンジン、接着剤など)や、業務用薬品(アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品)を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない



ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する



棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない
火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。

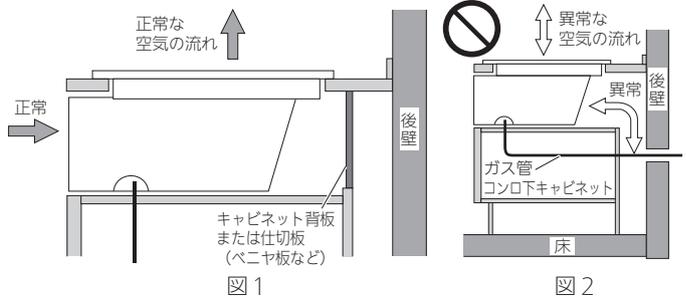


この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置しない
著しく機器の寿命が短くなります。



キャビネットを背板などでふさぐ

・コンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板やアルミテープなどでふさいでください。(図1) コンロ後方がふさがれていないと、コンロと後方空間や外気との間で異常な空気の流れが生じる場合があります。(図2) コンロの炎がゆらいだり、消えたり、異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。



※仕切板セット(0513B01(DP0723)、0513C01(DP0724))を用意しています。仕切板セットのお求めは販売店に、仕切板セットに関するご不明点は、弊社窓口(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。



ワークトップの前面部と機器本体上面との間を化粧板などで閉塞しない
不完全燃焼の原因になります。



- ・上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
 - ・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
 - ・奥行き600mm以上のワークトップに設置する。

機器の設置

◎機器の取り付け

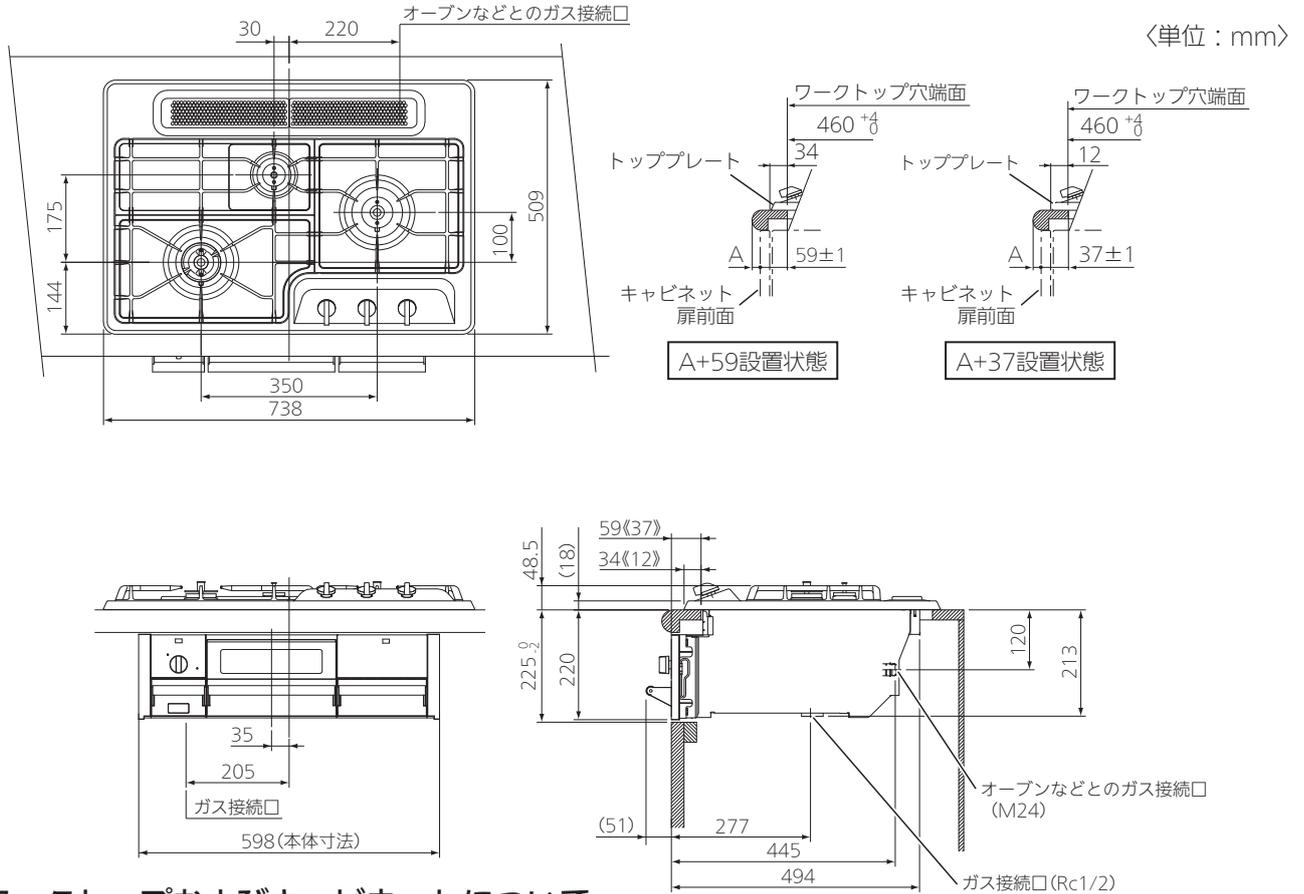
『ビルトインコンロ単体で設置する場合』

〈使用する工具：プラスドライバー〉

※電動ドライバーは、ネジが利かなくなるおそれがあるので、必ず手動ドライバーを使用してください。

[標準設置図、機器寸法図]

※《 》内の寸法はA+37設置時の寸法です。



◎ワークトップおよびキャビネットについて

- ・ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板 (JIS K6903) または同等以上の材料とする。
※ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
- ・機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工する。
※穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

⚠注意



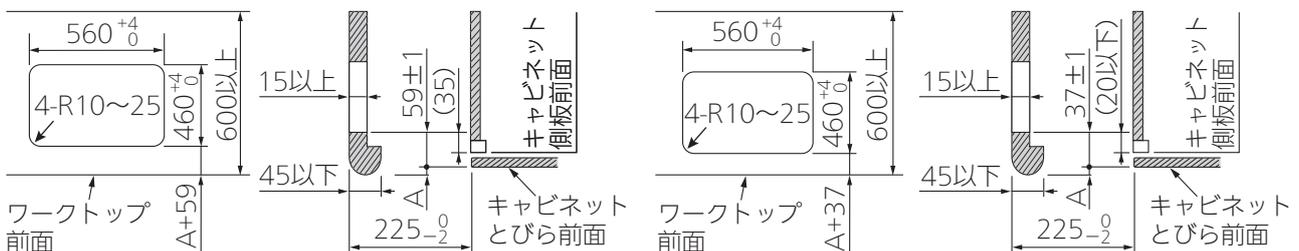
45mmを超える厚いワークトップには設置しない

ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。また、不完全燃焼の原因になります。

標準(A+59)穴あけ寸法

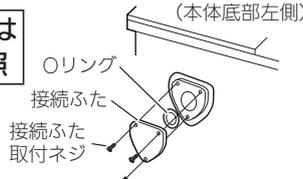
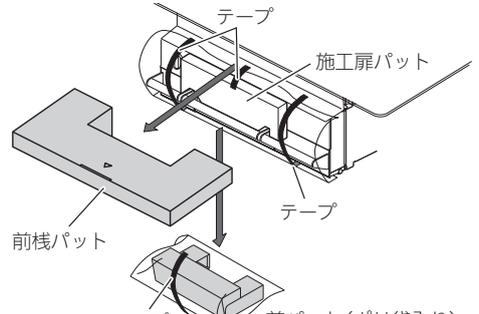
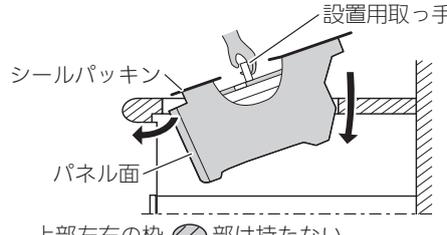
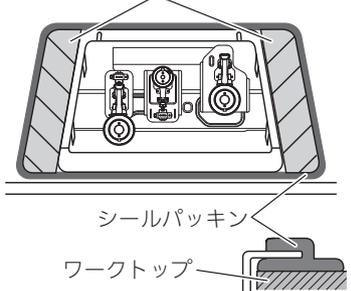
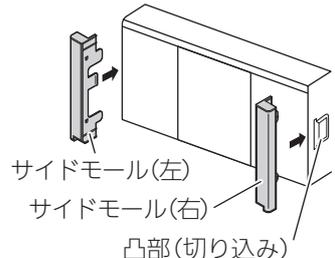
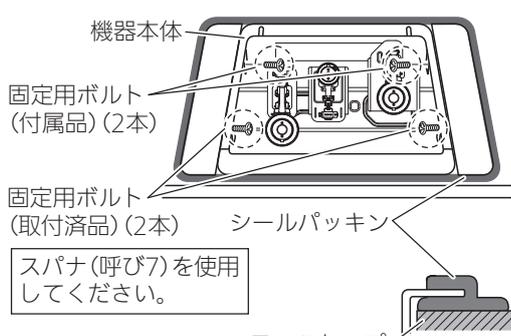
A+37穴あけ寸法

〈単位：mm〉



穴あけ寸法はA+59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA+59、(A+45)、A+37のどちらでも設置できます。

[機器本体の取り付け(コンロ単体設置)]

作業手順	説明図
<p>1. 機器側ガス接続口の接続ふたの取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器底部左側のガス接続口に取り付けてある接続ふた(ネジ3本)とOリングを取り外す。 <p>《取り外した接続ふた、接続ふた取付ネジ、Oリングは不要。》</p>	<p>ガス接続口位置は 3・6ページ参照</p> 
<p>2. 前面パネル包装材の取り外し</p> <ol style="list-style-type: none"> 前栈パットを手前に引き抜く。 前パットを固定しているテープのみをはがし、前パットを取り外す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> その他のテープ、ポリシート、施工扉パットは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。取り外すと、グリルとびらや操作部が開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。 </div>	
<p>3. 機器本体のはめ込み</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込む。 ※上部左右の枠を持たないでください。 ※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。 ※機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取り外さないでください。外れている場合は、取り付けてください。 「2. 前面パネル包装材の取り外し」で取り外していない残りの包装材(テープ、ポリシート、施工扉パット)を取り外す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none">  絶対にガス配管やバーナーなどを持たない ガス漏れや異常燃焼の原因になります。  機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒すと トッププレートが変形するおそれがあります。 </div>	 
<p>4. サイドモールの取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> サイドモールには保護シートが貼り付けられているので、取り付け前に必ずはがす。 サイドモールを機器本体前部両サイドの凸部(切り込み)にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込む。 <p>《サイドモールの取り付け忘れ注意!》</p> <p>※サイドモールは、(左)(右)がありますので、右図のとおりに取り付けてください。</p>	
<p>5. 機器本体の固定</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器本体側面の後部ナット部に付属の機器固定用ボルト(2本)を取り付け、手前に取り付け済の機器固定用ボルト(2本)の計4本で、ワークトップに機器を固定する。 <p>《付属の機器固定用ボルト2本は予備用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ※機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ※機器周囲に取り付けてあるシールパッキンが外れたりしていないか確認してください。外れたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none">  固定用ボルトを締め込みすぎない ワークトップを壊したり、コンロが変形したり、 トッププレートが浮く原因になります。 </div>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>スパナ(呼び7)を使用してください。</p> </div>

[部品の取り付け]

作業手順	説明図
<p>1. バーナーキャップの取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トッププレートを取り付ける前にバーナーキャップを取り外す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>注意</p> <p>必ず取り外す 必ず守る バーナーキャップを取り外さずにトッププレートの取り付けを行うと、トッププレートにバーナーキャップが当たり、キズなどがつくおそれがあります。</p> </div>	
<p>2. トッププレートの取り付け</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>注意</p> <p>必ず守る 取り扱うときは、手袋をはめて行う</p> <p>禁止 外装箱からトッププレートを取り出すときなど、取り扱い時はトッププレートの開口部に手を入れて持ち運ばない トッププレートが変形したり、裏面の金属部品などでけがをするおそれがあります。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> ① 機器本体に止めてあるトッププレート固定用ネジ(前部、後部各2本)を取り外す。(ネジは④で使用。) ② トッププレートの後部角穴に機器本体後部突起部を挿入する。 ③ 器具栓スピンドルが、トッププレート右前部の穴(3カ所)の中心になるようにトッププレートの位置を合わせる。 ④ ①で外したトッププレート固定用ネジでトッププレートを機器本体前部および後部に固定する。 <p>《必ず手動ドライバーを使用!》 ※電動ドライバーは、ネジが利かなくなります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トッププレートの取り付けは確実にを行い、浮きがないことを確認してください。 ・トッププレートの表面に汚れ、キズなどがいないか確認してください。 ・トッププレート表面に指紋などが付着した場合は、台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。 </div>	
<p>3. コンロ用器具栓つまみの取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器具栓スピンドル軸部に器具栓つまみ穴部を合わせ、器具栓つまみを奥まで差し込む。 <p>※目印(グレー)が上になるように差し込んでください。</p>	

作業手順

説明図

4. 煮こぼれカバーリング、バーナーキャップ、ごとくの取り付け

- 煮こぼれカバーリング、バーナーキャップ、ごとくの順に正しく取り付ける。

◎煮こぼれカバーリングの取り付けかた

- 煮こぼれカバーリングの穴部からバーナー本体が突出するように取り付ける。

◎バーナーキャップの取り付けかた

- バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付ける。

《点火プラグ、温度センサーに衝撃をあたえないようにする。》

◎ごとくの取り付けかた

- ごとくの枠部を必ずトッププレートの凹部に合わせて、浮きがないように取り付ける。

注意



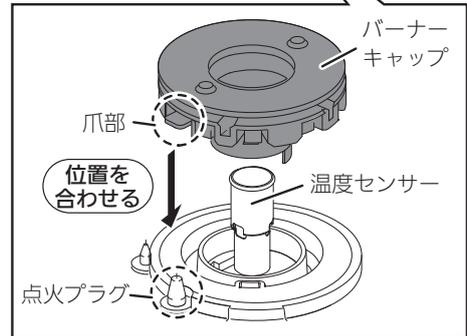
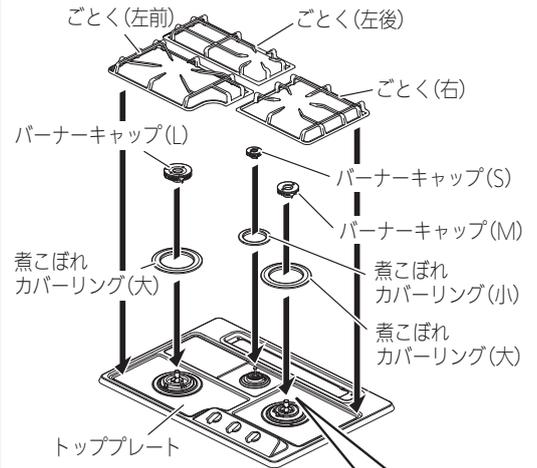
バーナーキャップは正しく取り付ける

- 誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、
- 必ず守る 点火しない場合があります。
 - 炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
 - 機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
 - 機器寿命が短くなるおそれがあります。



ごとくは正しく取り付ける

- 誤った取り付けかた（浮き、裏返し、ズレなど）で使用すると、鍋などが不安定になり、傾いたり、やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつく原因になります。



バーナーキャップの浮き



バーナーキャップの裏返し



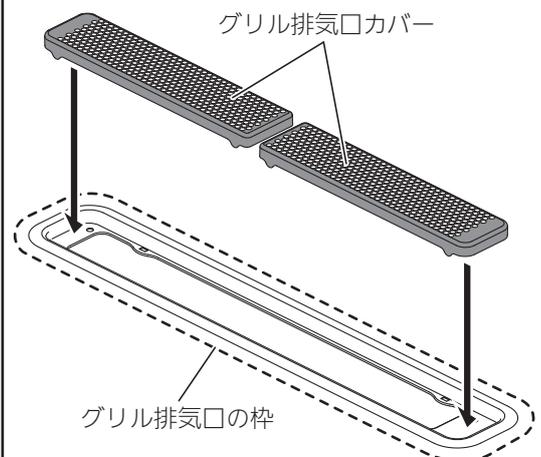
ごとくの浮き



ごとくの裏返し

5. グリル排気口カバーの取り付け

- グリル排気口カバーをグリル排気口の枠に合わせて取り付ける。



6. 乾電池の取り付け

乾電池(単1形：1.5V)を2個使用する。

[乾電池の確認]

- ①電池ケースに正しく乾電池が組み込まれていることを確認する。
※電池ケースは、同こん部品の中にあります。
- ②電池ケースふたの取っ手を持ち、矢印の方向に開ける。

⚠ 注意



乾電池の組み込む方向⊕⊖を間違えない
間違えると使用できません。また、発熱や液漏れの原因になります。

お願い

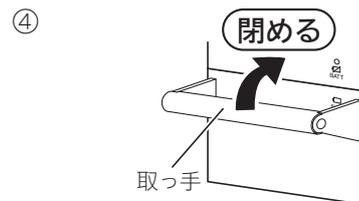
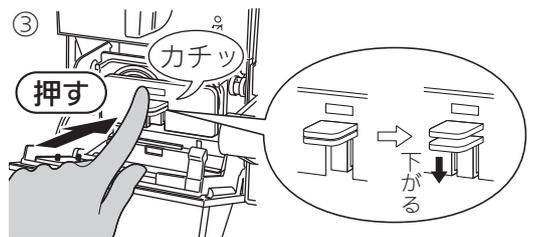
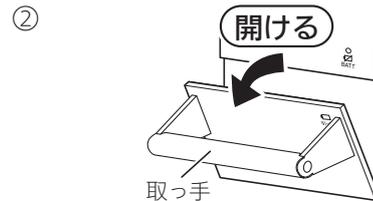
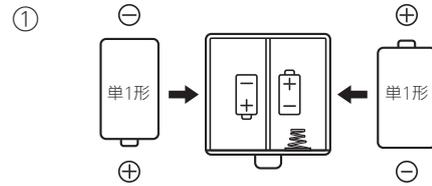
- ・電池ケースふたは約70°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。また、無理な力を加えないでください。電池ケースふたが破損する原因になります。

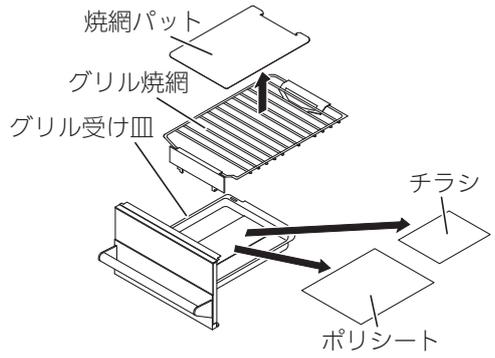
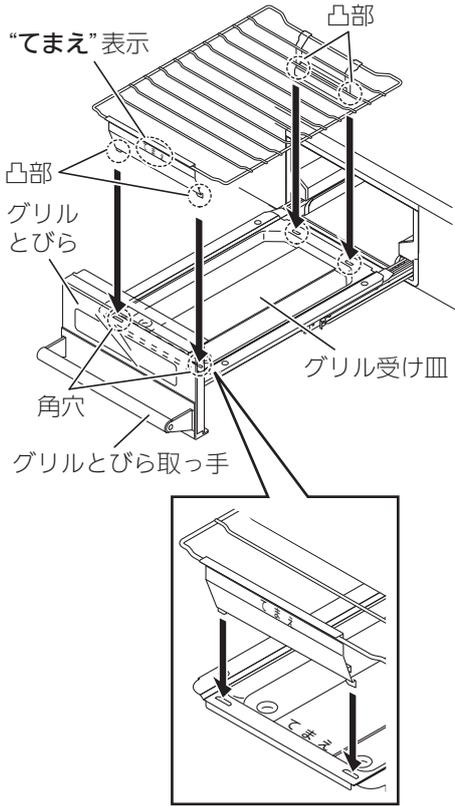
[電池ケースの取り付けかた]

- ③電池ケースを一旦挿入して最後にケース凸部の上側を押す。
※電池ケースを完全に押し込んだときに、下のケース凸部が下がってロックされます。
- ④電池ケースふたを元に戻す。

お願い

- ・電池ケースに水や異物が入った場合は、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。



作業手順	説明図
<p>7. グリル内包装材の取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリルとびらを引き出し、焼網パット、チラシ、ポリシートを取り除く。 <p>※チラシはお客さまにお渡しください。</p>	
<p>8. グリル焼網の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“てまえ”と表示している方をグリルとびら側にし、グリル受け皿の角穴にグリル焼網の凸部(4カ所)を差し込む。 <p>※グリル焼網には前と後がありますので、右図のとおりに取り付けてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、グリルとびら、グリル受け皿、グリル焼網が正しく取り付けされていません。そのまま押し込むと、<u>変形や損傷の原因</u>になりますので、再度正しく取り付け直してください。 </div>	

9. レンジフードファンの赤外線信号の動作確認
[レンジフードファンと連動する場合]

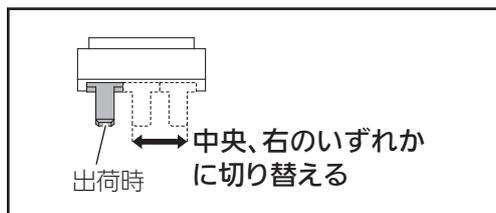
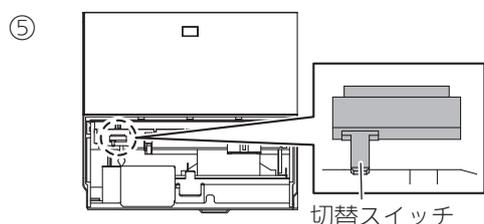
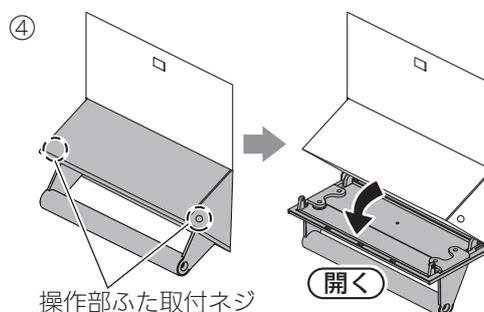
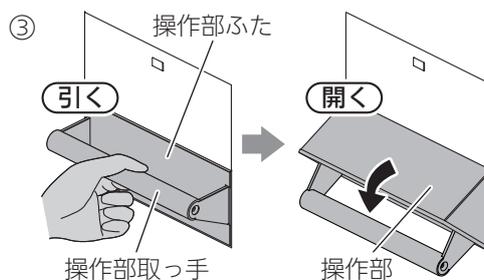
- ①コンロ用器具栓つまみを押し回して点火操作をし、レンジフードファンの連動を確認する。
- ②レンジフードファンが動作しない場合は、下記操作を行い、設定を変更する。
※レンジフードファンが連動対応していない場合は、動作しません。

◎設定の変更

- ①機器本体より乾電池を抜く。
10ページ「6.乾電池の取り付け」を参照。
- ②グリルとびらを引き出し、グリル焼網を取り出す。
11ページ「8.グリル焼網の取り付け」を参照。
- ③操作部取っ手を手前に引き、操作部を開ける。
- ④操作部ふた取付ネジ(左右2本)を取り外し、操作部取っ手を手前に引いて操作部ふたを開ける。
《取り外したネジは設定の変更後、再度使用。》
※外れにくい場合は、左右のネジ穴に精密ドライバーなどの細い棒で押しながら、ふたを開ける。
- ⑤切替スイッチを中央または右の位置に設定し、操作部ふたを閉める。(出荷時は左の位置に設定されている。)
※切替スイッチの位置で、各メーカー設定の信号に変更することができます。
- ⑥操作部ふた取付ネジ(左右2本)を取り付ける。
※操作部ふたと操作部に浮きがないこと、操作部がスムーズに開閉できることを確認してください。
- ⑦グリル焼網を元に戻す。
- ⑧乾電池を機器本体に戻す。
- ⑨コンロ用器具栓つまみを押し回して点火操作をし、レンジフードファンの連動を確認する。
※再度設定をやり直す場合は、①の手順から行ってください。

⚠ 注意

❗ 設定を変更する場合は、必ず乾電池を抜いて設定する
必ず守る 乾電池が入っている状態で切替スイッチを変更しても、設定はされません。



レンジフード側信号 (レンジフードの主なメーカー名)	No.
NECフォーマットA (富士工業製、渡辺製作所製など)	左
NECフォーマットB (東芝キャリア製など)	中央
家製協フォーマット (パナソニック製など)	右

※ガス配管工事については、18ページ「ビルトインコンロ単体で設置する場合」を参照してください。

◎機器の取り付け

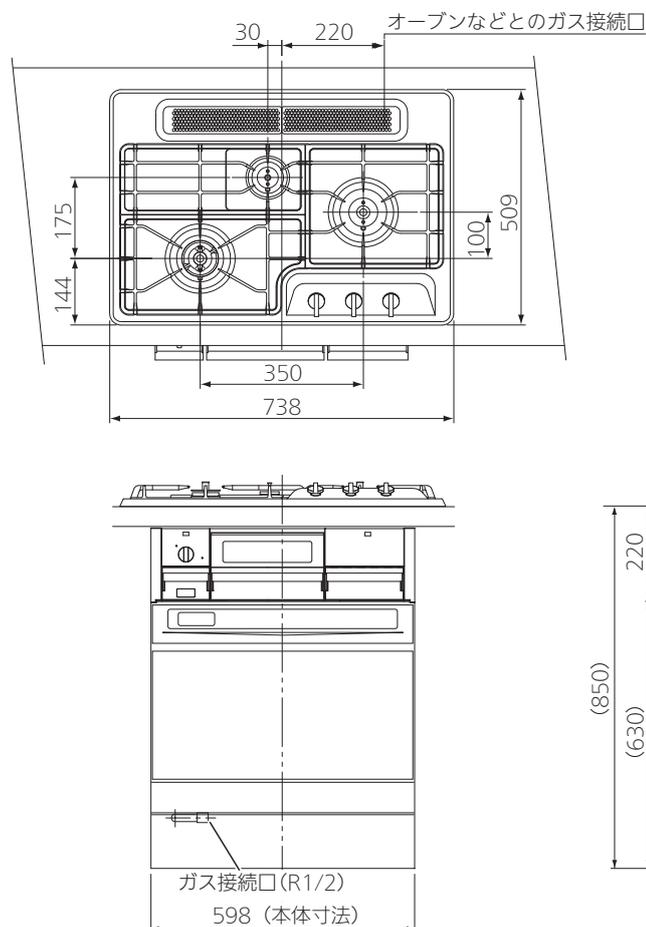
『ビルトインコンロとビルトインタイプガスオーブンをセットで設置する場合』

※オーブンのタイプは、ワークトップ穴あけ寸法に関係なく、A+37仕様(Vタイプ)になります。
 オーブンの仕様を確認のうえ設置してください。詳しくはオーブン側の「工事説明書」を参照してください。

〈使用する工具：プラスドライバー、ニッパー〉

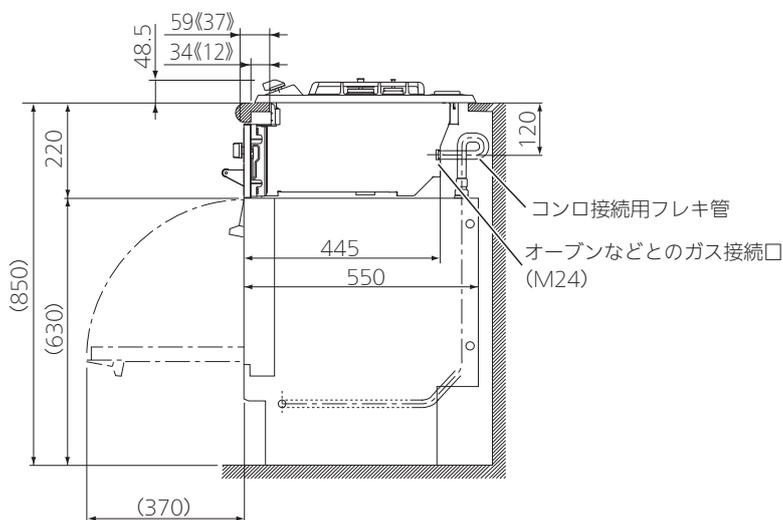
※電動ドライバーは、ネジが利かなくなるおそれがあるので、必ず手動ドライバーを使用してください。

[標準設置図、機器寸法図]



※《 》内の寸法はA+37設置時(コンロ部)の寸法です。
 ※オーブン設置寸法は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。

〈単位：mm〉



◎ワークトップおよびキャビネットについて

- ・ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板 (JIS K6903) または同等以上の材料とする。
 ※ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
- ・機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工する。
 ※穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

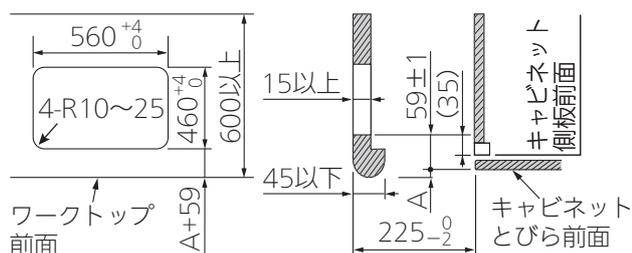
⚠ 注意



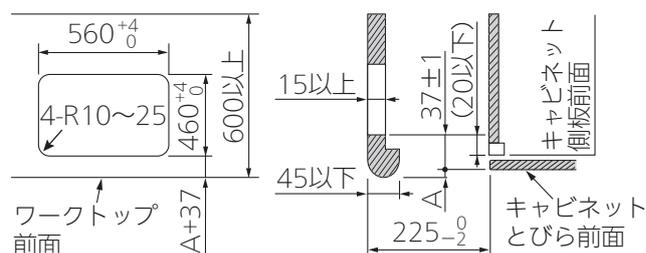
45mmを超える厚いワークトップには設置しない

ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。また、不完全燃焼の原因になります。

標準(A+59)穴あけ寸法



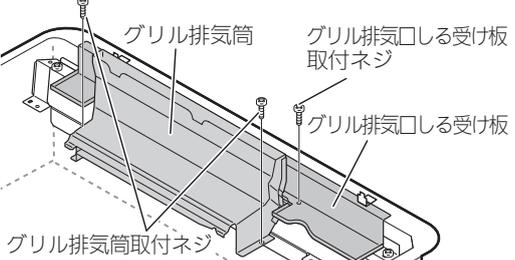
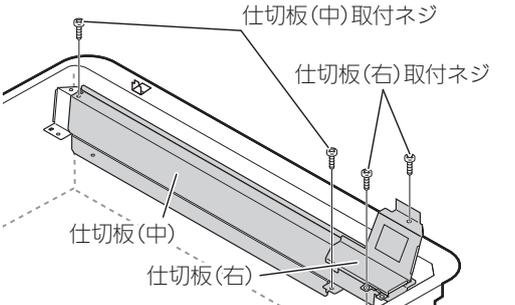
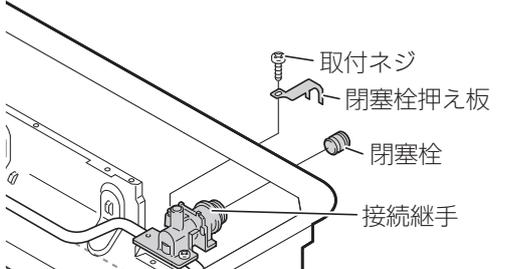
A+37穴あけ寸法



〈単位：mm〉

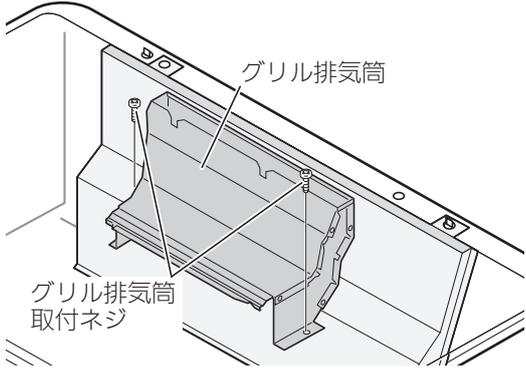
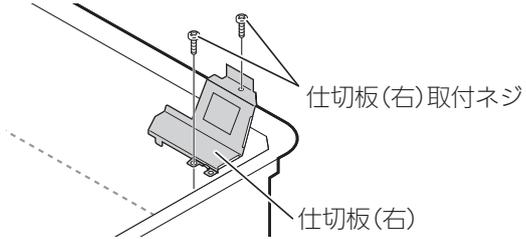
穴あけ寸法はA+59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA+59、(A+45)、A+37のどちらでも設置できます。

[取り付け前の準備(ガスオープンとのセット設置)]

作業手順	説明図
<p>1. ビルトインタイプガスオープンが設置されていることを確認する</p>	<p>この作業はビルトインタイプガスオープン側に付属されている「工事説明書」を参照し、確認する。</p>
<p>2. グリル排気口しる受け板、グリル排気筒の取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリル排気口しる受け板(ネジ1本、黒色)、グリル排気筒(ネジ2本)を取り外す。 <p>《取り外したグリル排気筒、グリル排気筒取付ネジはガス接続工事後、再度使用。グリル排気口しる受け板は不要。》</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	
<p>3. 仕切板(中)、(右)の取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕切板(中)(ネジ2本、黒色)、仕切板(右)(ネジ2本、黒色)を取り外す。 <p>《取り外した仕切板(右)取付ネジはガス接続工事後、再度使用。仕切板(中)は不要。》</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	
<p>4. 閉塞栓の取り外し</p> <ol style="list-style-type: none"> ①閉塞栓押え板(ネジ1本)を取り外す。 ②閉塞栓を後方へ引き抜く。 <p>《取り外した閉塞栓、閉塞栓押え板、取付ネジは不要。》</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	
<p>5. ビルトインタイプガスオープンの作業</p>	<p>ビルトインタイプガスオープン側に付属されている「工事説明書」に従い設置する。</p>

[機器本体の取り付け(ガスオープンとのセット設置)]

作業手順	説明図
<p>1. 前面パネル包装材の取り外し</p>	<p>取り外し方法は、7ページ「2. 前面パネル包装材の取り外し」を参照する。</p>
<p>2. 機器本体のはめ込み</p> <p>《機器をはめ込む前に、オープン側のコンロ接続用フレキ管を右図のような形状、寸法に曲げる。》</p> <p>① 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込む。</p> <p>※上部左右の枠を持たないでください。 ※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。 ※機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取り外さないでください。外れている場合は、取り付けてください。</p> <p>② 7ページ「2. 前面パネル包装材の取り外し」で取り外していない残りの包装材(テープ、ポリシート、施工扉パット)を取り外す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>禁止 絶対にガス配管やバーナーなどを持たない ガス漏れや異常燃焼の原因になります。</p> <p>必ず守る 機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒す トッププレートが変形するおそれがあります。</p> </div>	
<p>3. オープンとコンロのガス接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管をコンロ側の接続口と接続する。 	<p>接続の方法は、17ページ「ビルトインコンロとビルトインタイプガスオープンとの接続方法(コンロ接続用フレキ管)」を参照する。</p>
<p>4. オープン排気筒(オープン側の付属部品)の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープン後側の排気出口部に確実に差し込み、オープン排気筒上部のツバ部(穴)をコンロ側突起部に差し込む。 <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	

作業手順	説明図
<p>5. グリル排気筒の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 元通りにグリル排気筒(ネジ2本)を取り付ける。 <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>必ず守る グリル排気筒を確実に取り付ける グリル排気筒が確実に取り付けられていないまま使用すると、機器が正常に機能しない場合や、機器損傷の原因になります。</p> </div>	
<p>6. 仕切板(右)の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ネジ2本で取り付ける。 	
<p>7. サイドモールの取り付け</p>	<p>取り付け方法は、7ページ「4. サイドモールの取り付け」を参照する。</p>
<p>8. 機器本体の固定</p>	<p>固定方法は、7ページ「5. 機器本体の固定」を参照する。</p>

[部品の取り付け]

作業手順	説明図
<p>1. トッププレート、コンロ用器具栓つまみ、煮こぼれカバーリング、バーナーキャップ、ごとく、グリル排気口カバー、乾電池、グリル焼網の取り付け</p>	<p>取り付け方法は、8～11ページ「[部品の取り付け]」の項を参照する。</p>

[レンジフードファンの赤外線信号の動作確認]

作業手順	説明図
<p>1. レンジフードファンと連動する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 後コンロ用器具栓つまみを押し回して、レンジフードファンが連動することを確認する。 	<p>レンジフードファンが動作しない場合は、12ページ「◎設定の変更」の項を参照する。</p>

ガス接続、ガス配管工事

◎ガス接続

- ・ビルトインコンロとビルトインタイプガスオーブンの接続方法（コンロ接続用フレキ管）

⚠注意



コンロ接続用フレキ管に O リングがついていることを必ず確認する

必ず守る

※万一、なくなった場合やキズついた場合は、オーブン側に予備用として O リングが入っていますので、使用してください。
※コンロ部の取り替え時は、O リングを新しいものに取り替えてください。



禁止

O リングは複数個入れない



禁止

コンロ接続用フレキ管は斜めに挿入しない

※斜めに挿入すると O リングがキズついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。



必ず守る

固定金具のスリット穴の中に、接続継手とコンロ接続用フレキ管ナットのツバ部が入っていることを必ず確認する



禁止

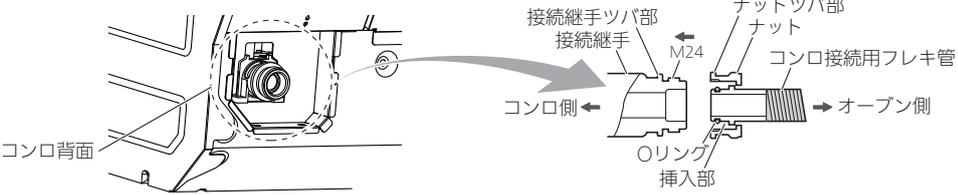
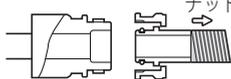
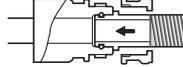
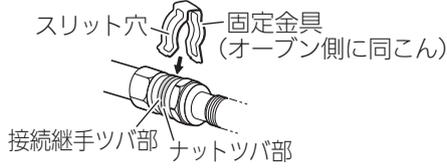
コンロ接続用フレキ管のナットは、一定量圧縮するとそれ以上回らなくなるので無理に回さない



禁止

コンロ接続用フレキ管は、ねじったり、繰り返し曲げたり、衝撃を与えたりしない

上記項目を守らなかった場合、ガス漏れの原因になります。

作業手順	説明図
<p>■接続部の構造</p> 	
<p>1. オープン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管のナット部を矢印方向へ移動させる。</p>	
<p>2. 挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入する。</p>	
<p>3. 手じめで接続用フレキ管のナットを回し、ナットツバ部と接続継手ツバ部が合うまでしめ込む。</p>	
<p>4. ナットと接続継手の両方のツバ部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込む。 ※固定金具はナットのゆるみを止めるもので固定金具のスリット穴の中に接続継手とナットのツバ部が入っていることを確認してください。</p>	

◎ガス配管工事

・機器へのガス接続に必要な資格について

- ・都市ガス用機器の場合、内管工事士、簡易内管施工士、ガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
- ・LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。
なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。

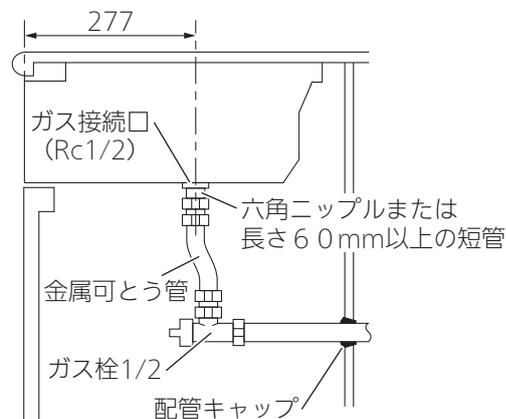
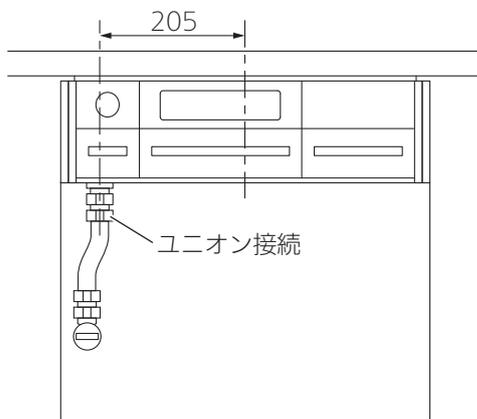
・機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない(位置、口径)場合は、新設または交換をする。

・ガス接続方法

[ビルトインコンロ単体で設置する場合]

- ・ガス接続口
下側の場合：Rc1/2、右後側の場合(オープンなどとのガス接続口)：M24
- ・ガス栓より下流側のガス接続は、都市ガスの場合は、六角ニップルもしくは6cm以上の短管、または、金属可とう管を使用してください。
LPガスの場合は、経済産業省およびLP業界団体の定める接続方法で、LPおよびLIA認証品材料を使用し、工法・作業内容に応じて、有資格者による適切なガス接続作業と事務処理を実施してください。
【工法例】可とう管ガス栓と金属フレキシブルホースによるコンロへの接続など。

標準配管接続例(都市ガスの場合)



〈単位：mm〉

[ビルトインコンロとビルトインタイプガスオーブンをセットで設置する場合]

- ・オープン側の「工事説明書」を参照してください。
すでにオープンが設置されている場合は、17ページの「◎ガス接続」に従ってガス接続してください。

・接続、工事後のガス漏れ確認

[機器のガス接続が完了している場合]

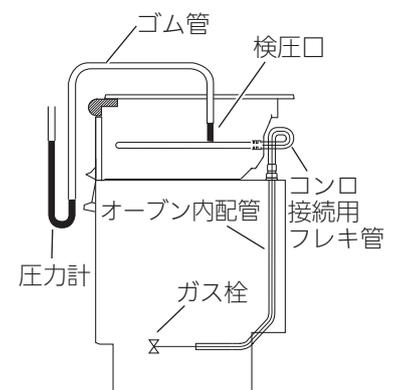
- ・検圧口(コンロとオーブンをセットで設置した場合は、オープンまたはコンロの検圧口)に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えたあと、ガス栓を閉めて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

[機器のガス接続ができていない場合]

- ・検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

[ガス漏れ確認終了後]

- ・検圧口ネジは確実に取り付けてください。
- ・ビルトインコンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。
- ・検圧口ネジを取り付け後に検圧口部からのガス漏れがないことを確認してください。



設置後の点検確認

- ・設置が終了したら、チェックリストに基づいて、必ず再確認を行う。

チェックリスト

点検項目	点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	4
	同 こん 部 品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	2・7~11 15~16
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	4~5
	設 置 条 件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	4~5
	保守、管理上の空間	点検、修理に必要な空間はありますか。	5
	水 平 設 置	水平に設置されていますか。	5
	安 定 設 置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	5・7
	グリルとびら	グリルとびらはスムーズに動きますか。	11
	シールパッキン	シールパッキンは確実に取り付けられていますか。	7
	給 排 気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	5
キャビネット	キャビネットに背板がありますか。(機器後方に穴があいていないか。)	5	
ガス接続、ガス配管工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	17~18	
ラベル貼付	接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。	—	
レンジフード連動	レンジフードファンが点火動作に連絡して動作しましたか。	12	
そ の 他	グリル、オープン庫内に同こん物が残っていませんか。	—	

試運転

- ・正しく設置されていることを確認してから、機器のガス栓を開き、取扱説明書の「使いかた」に基づいて点火および試運転を行う。
- ・試運転終了後、必ず器具栓つまみを「消火の状態」にして、長期間使用しないときはガス栓を閉めて、乾電池を取り外す。

